





我的第一本 日语阅读书

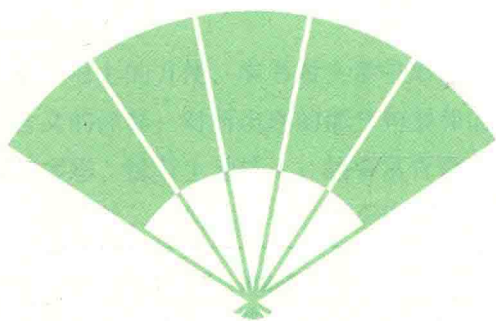
赵玉柱 编著



 中国纺织出版社

我的第一本 日语阅读书

赵玉柱 编著



 中国纺织出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

我的第一本日语阅读书! / 赵玉柱编著. —北京:
中国纺织出版社, 2016.5

ISBN 978-7-5180-2406-3

I. ①我… II. ①赵… III. ①日语—阅读教学—自学
参考资料 IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字 (2016) 第040735号

策划编辑: 张向红
责任设计: 林昕瑶

责任编辑: 张向红
责任印制: 储志伟

中国纺织出版社出版发行

地 址: 北京市朝阳区百子湾东里A407号楼 邮政编码: 100124

销售电话: 010-67004422 传真: 010-87155801

<http://www.c-textilep.com>

E-mail: faxing@c-textilep.com

中国纺织出版社天猫旗舰店

官方微博<http://weibo.com/2119887771>

北京佳诚信缘彩印有限公司印刷 各地新华书店经销

2016年5月第1版第1次印刷

开 本: 710×1000 1/16 印张: 26.5

字 数: 400千字 定价: 49.80元

凡购本书, 如有缺页、倒页、脱页, 由本社图书营销中心调换

前言

要想提高日语的水平，除了多听多说以外，还必须要大量地阅读。通过大量地阅读可以扩充你的词汇量，进一步巩固和加深你对日语语法及句型的理解和掌握。通过不断的知识积累，就会逐渐地培育出你对日语句子及文章的正确分析能力。阅读能力的进步反过来也会促进其他各项日语技能的提高。

本书共精选日语文章 137 篇，分为九个方面的内容，涉及小说、评论、散文、随笔等题材。学习者在学习日语语言知识的同时，可以领略日本社会的现状和生活习俗；了解日本人的思维方式及对事物的看法；感受日本的礼仪和教育；体察他们人与人之间以及对于大自然的细腻情感。

为了给学习者提供学习上的方便，本书对文章中出现的稍有难度的词汇做了较为详尽的读音和含义的注释；对所出现的部分句型和语法现象也做了重点的解说。本书内容丰富多彩，情节生动感人；故事富含哲理，耐人深思回味；语言生动活泼，生活气息盎然。相信这本书一定会引起读者的兴趣，对学习者的日语水平的提高会有一定的帮助。

在本书的编辑过程中得到了日本友人村上久美子女士的热情帮助，在此表示衷心的感谢。

编者

2015 年 8 月於北京师范大学

目 录

一、日本語の知識

第1篇	ありがとう	002
第2篇	ありがとうございました	005
第3篇	こんにちは	008
第4篇	「こんにちは」「さようなら」	014
第5篇	すみません	016
第6篇	家に遊びに来てください	023
第7篇	頑張る	026
第8篇	他人 ^{たにん}	030
第9篇	辞書をひく	033
第10篇	日本語の変化	036
第11篇	日本語のあいまいさ	041
第12篇	言葉遣い ^{ことばづか} の感覚 ^{かんかく}	044
第13篇	言葉の正しい使い方	049
第14篇	敬語 ^{けいご} は必要 ^{ひつよう} か。	053

二、生活

第15篇	日本人の食生活	056
第16篇	日本人と食生活	061
第17篇	屋台 ^{やたい}	065
第18篇	食べ物 ^{どくどく} の独特 ^{どくとく} のにおい	069

第19篇	栄養 <small>えいよう</small> のバランス	071
第20篇	有害 <small>ゆうがい</small> な食品 <small>しょくひん</small>	074
第21篇	行列 <small>ぎょうれつ</small>	078
第22篇	箸 <small>はし</small>	080
第23篇	家 <small>さが</small> を探す	084
第24篇	タタミ	086
第25篇	日本人と洋服 <small>ようふく</small>	089
第26篇	コンビニ	091
第27篇	スーパーマーケット	093
第28篇	100円ショップ	095
第29篇	カード	099
第30篇	集団の中での人間の行動	102
第31篇	私の散歩道	106
第32篇	ほどほどの貧乏 <small>びんぼう</small>	108

三、風俗習慣

第33篇	在宅勤務 <small>ざいたくきんむ</small>	112
第34篇	お正月 <small>しょうがつ</small>	113
第35篇	プレゼント	116
第36篇	礼儀 <small>けんぎ</small> と謙遜 <small>けんそん</small>	119
第37篇	「ウチ」と「ソト」	121
第38篇	握手 <small>あくしゅ</small>	124
第39篇	料理 <small>すす</small> と酒 <small>かた</small> の勧め方	127

四、思いやり

第40篇	勇気 <small>ゆうき</small> のある人	132
第41篇	空いている座席	136

第42篇	施設 <small>しせつ</small> にいる老母 <small>ろうぼ</small>	139
第43篇	おばあさんのあいさつ	142
第44篇	飛びこめ	144
第45篇	字 <small>じ</small> のないはがき	150
第46篇	昼 <small>ひる</small> のにおい	154
第47篇	丘 <small>かみ</small> の上の父	158
第48篇	もらいっ子 <small>こ</small>	160
第49篇	バナナ	164
第50篇	母のお辞儀 <small>じぎ</small>	166
第51篇	吹雪 <small>ふぶき</small>	170
第52篇	天国 <small>てんごく</small> の曾おばあちゃん <small>そう</small>	173
第53篇	忠犬 <small>ちゅうけん</small> ハチ公 <small>こう</small>	175
第54篇	人間 <small>おんし</small> の恩知らず	176
第55篇	母馬 <small>ははうま</small> と子馬 <small>こうま</small>	179
第56篇	カモ	181
第57篇	ニワトリ <small>こや</small> 小屋	184

五、気持ち

第58篇	好き <small>きら</small> と嫌い <small>しんりがく</small> の心理学	188
第59篇	中村さん	191
第60篇	坊っちゃん	195
第61篇	太郎物語 <small>たろうものがたり</small>	199
第62篇	時間ドロボー	203
第63篇	就職 <small>しゅうしょく</small> 拒否 <small>きよひ</small> の息子	205
第64篇	意地 <small>いじ</small> っ張り <small>ば</small>	208
第65篇	お嫁 <small>よめ</small> さんの記念写真	212
第66篇	母の気持ち	214

第67篇	使ってやってください	216
第68篇	<small>あまがさ</small> 雨傘	218
第69篇	<small>つま</small> 妻の手	222
第70篇	<small>おきな</small> <small>ころ</small> <small>おも</small> <small>で</small> 幼い頃の思い出	226
第71篇	風景との対話	229
第72篇	トイレ	231
第73篇	<small>まんいん</small> 満員電車	233
第74篇	さあ、今日も一日頑張ろう	238

六、見方

第75篇	正しく考えるために	242
第76篇	<small>じょうしき</small> 常識とは何なのか	245
第77篇	音楽とは何か	249
第78篇	<small>かん</small> 勘というもの	253
第79篇	<small>ふ</small> <small>あ</small> 触れ合い	255
第80篇	手紙	257
第81篇	<small>どくしょ</small> 読書	259
第82篇	ストレスと人間関係	262
第83篇	人間の成長	266
第84篇	<small>ほご</small> <small>かほご</small> 保護と過保護	268
第85篇	情報化が子供をどう変えるか	269
第86篇	子供の頃の喜び	272
第87篇	学歴	275
第88篇	幸福について	277
第89篇	自分らしい本当の幸福	279
第90篇	<small>こころゆた</small> 心豊かに生きること <small>びとく</small> こそ美徳である	282
第91篇	伴いを慕う心	285

第 92 篇	私の生き方	288
第 93 篇	日本文化は <small>ざっしゅ</small> 雑種文化である。	291
第 94 篇	日本人の心	294
第 95 篇	日本人は好奇心が強い	296
第 96 篇	日本人は日本を知らない	298
第 97 篇	日本人の団体旅行者	300
第 98 篇	気配りのすすめ	304
第 99 篇	人類愛 <small>じんるいあい</small> と隣人愛 <small>りんじんあい</small>	307
第 100 篇	親切	310
第 101 篇	情報収集 <small>じょうほうしゅうしゅう</small>	314
第 102 篇	日本の自動販売機 <small>じどうはんばいき</small>	316
第 103 篇	相手をよく理解しよう	318
第 104 篇	ボストンで感じた静けさ <small>しず</small>	321
第 105 篇	サービスのコスト	324
第 106 篇	脳卒中 <small>のうそっちゅう</small>	326
第 107 篇	健康病 <small>けんこうびょう</small>	329
第 108 篇	清潔病 <small>せいけつびょう</small> とは	331
第 109 篇	突然死 <small>とつぜんし</small> か癌死 <small>がんし</small> か	333

七、教育と礼儀

第 110 篇	教育とは何か	338
第 111 篇	新しいマナーとしてのしつけ	342
第 112 篇	若いやつは失礼	345
第 113 篇	少女とぬいぐるみ	348
第 114 篇	子供の教育と親の責任	351
第 115 篇	心の <small>ようじ</small> 幼児教育	353
第 116 篇	ある朝のこと	355

第 117 篇	おじさん、寒いね。	356
第 118 篇	あいさつするのは変なことか	359
第 119 篇	声をかける	360
第 120 篇	^{いっけん} 一件の小さい事	362
第 121 篇	^{きんえんしゃ} 禁煙者にもマナーが必要だ	364
第 122 篇	^{けんそん} 謙遜	366
第 123 篇	^{れいぎかん} 私の礼儀観	369
第 124 篇	電話をかける側 ^{がわ} の心 ^{こころ} づかい	372

八、自然

第 125 篇	地球上の空気や水はどこから来たか	376
第 126 篇	海の大切さ	378
第 127 篇	^{さばく} 砂漠	381
第 128 篇	日本の ^{こくど} 国土——山と川	383
第 129 篇	^{きせつ} 季節	385
第 130 篇	桜	388
第 131 篇	果物	390
第 132 篇	私は秋を ^{この} 好む	393
第 133 篇	気候と日本の家屋	395

九、環境保護

第 134 篇	父の ^{えがお} 笑顔	400
第 135 篇	たった一本 ^{いっぽん} でも	403
第 136 篇	車からゴミ ^す を捨てるな	405
第 137 篇	^{きんえん} 禁煙	408



一、日本語の知識



* 第1篇 ありがとう *

わたしたちは人から物をもらうと、「ありがとう」と言います。「ありがとう」と言わなかったら、物をくれた人は、きっとがっかりするでしょう。

ところが、アフリカのある所では、物をもらったほうの人ではなくて、物をあげるほうの人が「ありがとう」と言うのだそうです。不思議な気がしますが、説明を聞くと、その理由が分かります。

例えば、自分が大事にしている時計を人にあげるときには、「記念に時計をあげます。もらってくださいますか。ああ、よかった。おかげで、いい行いおこなをすることができました。ありがたいことです。」と考えるのだそうです。もらったほうの人も、もちろんうれしいのですが、その喜びよろこの気持ちきもちは、時計をくれた人むに向けられるのではなく、神様かみさまに向けられるのだそうです。

それでは、日本語の「ありがとう」は、どういう意味でしょうか。これは、「ある」と、「むずかしい」という意味の「かたい」とに分けられる「ありがたい」からできた言葉ことばで、「あることがむずかしい」「こんなことは、めったにない」という意味です。作物さくもつが豊作ほうさくだったり、病気なが治なおったりして、うれしい時、「こんなしあわ幸せなことはめったにない」と自然しぜんや神様ほとけさまや仏様かんにしやに感謝する言葉だったと思われます。これがだんだん、人にお礼れいを言うときの言葉として、広く使われるようになったのです。

言葉の注釈

がっかりする（自サ）颓喪，失望

…気がする（組）有……的感觉

行い（名）行为，举止

神様（名）神，上帝

向ける（他一）朝，向

分ける（他一）分，分开

仏様（名）/佛

めったに（副）（下接否定）不常

……，很少……

治る（自五）痊愈，治好

お礼を言う（組）致谢，道谢

…がする

“する”为自动词,在这里表示感知。前接表达声音、气味、味道、颜色、冷暖、精神状态等感觉器官能够感觉到的名词。整个句型表达“有……感觉;感觉……;听(嗅)到……”。

- ❁ 寒気がします。風邪を引いたでしょう。
- ❁ 花園から花のいい匂いがしてくる。
はなぞの 花園から花のいい匂い^{にお}がしてくる。
- ❁ あの部屋から人の話し声をした。
- ❁ 夜中に台所でコトコトと音がするので、行ってみたら、大きな鼠^{ねずみ}がいた。
- ❁ 今朝から吐き気がして何も食べられない。
は 今朝から吐き気^けがして何も食べられない。
- ❁ なんだか胸騒ぎがするので、急いで家路についた。
むなさわ なんだか胸騒ぎ^{いそ}がするので、急いで家路についた。
- ❁ 帰りの遅いお母さんに何かあったのか、嫌な予感がするよ。
よかん 帰りの遅いお母さんに何かあったのか、嫌な予感^{かん}がするよ。

…気がする

前接用言连体形。当句子为肯定句时,常上接“ような”“そんな”“みたいな”等助动词的连体形,表达婉转和不确切的推断:“觉得好像……”“似乎觉得……”。此句型的动作主体多为第一人称。

- ❁ 彼とはうまくやっていけないような気がする。
- ❁ どこかであの人に会ったような気がする。
- ❁ 今週母が帰って来そうな気がする。
- ❁ いくらやってもだめだという気がするんですよ。
- ❁ ちょっと部屋の模様替えをするだけで、新しい家に引っ越したような気がします。
もようが ちょっと部屋の模様替えをするだけで、新しい家に引っ越したような気がします。

めったに…ない

此句型由副词“めったいに”与谓语的否定形式相互应构成，可译为“很少……；几乎不（没）……”。

- ❁ こんな ^{めずら}珍しい果物はうちではめったに買えるものじゃない。
- ❁ あの人は病気のために、休んだことはめったにない。
- ❁ 家では、こんなにおいしいお茶をめったに飲むことはないです。
- ❁ 姉は遠くに住んでいて、めったに会えない。

日本の概況—位置、面積

日本はアジア北東部に位置し、東は太平洋、北はオホーツク海（鄂霍次克海）に面している。西は日本海と東シナ海を隔てて中国を望む、中国とは一衣帯水の隣邦である。北から南へ、北海道、本州、四国、九州の四つの大きな島と、7000余りの小さな島からできている。日本の総陸地面積は37万7800k m²で、世界の総陸地面積の0.3%を占めている。

* 第2篇 ありがとうございます *

ある日、私は家の近くのそば屋に入った。ちょうど昼の食事の時間だったから、店は込んでいた。でも、一つだけ空いているテーブルがあったので、そこに座った。しばらく待っていたが、誰も注文を聞きに来てくれない。しかたがないから、「きつねうどんをお願いします」と大きな声で言った。すると、店の奥から「はい、かしこまりました」という声があったので、安心して待っていた。

ところが、15分待っても、うどんは来ない。それで、心配になって「あのう、うどんはまだですか」と聞いた。店の人は、「はい、はい、今すぐ」と答えたが、それから5分たってもまだ来ない。

やっと、うどんが来たのは店に入ってから、30分後だった。そのとき、店の人は「ありがとうございます。」と言ってテーブルの上うどんを置いた。私はなんだか、変な気がした。長い時間待たせたのだから、お待たせしましたと言うべきではないかと思ったのだ。「ありがとうございます。」というのは食べ終わってお金を払うときに言う言葉だと思う。まだ食べていないのに、「ありがとうございます」と言われると、「はやく食べて帰ってください。」と言われているようで、感じが悪い。「ありがとう」という言葉も使う時と場所によって、ずいぶん違う意味になると思った。

うどんはおいしかったが、始めから終わりまで、あまり気分のいい昼ご飯ではなかった。

言葉の注釈

そば屋（名）荞麦面店

空く（自五）空；閑

込む（自五）拥挤

注文を聞く（組）接受订单

きつねうどん(名) 加油炸豆腐和葱

花的面条

かしこまりました(组)(自谦语)

知道了

声がする(组) 听到声音

たつ(自五) 经, 过

なんだか(副) 不知为什么

変な気がする(组) 觉得奇怪

感じが悪い(组) 印象不好

気分がいい(组) 心情好

…べきだ

“べき”为文语助动词“べし”的连体形, 上接动词终止形。当上接サ变动词时, 既可以用“するべき”, 也可以用“すべき”。此句型表示从义务、责任、道德、规则、一般常识去规范人们的言行。可译为“应该……; 理应……”。

- ☛ 自分のことは自分でやるべきだ。
- ☛ 大切なことはみんなに相談すべきだ。
- ☛ 言うべきことははっきり言わなければなりません。
- ☛ やたらに人の陰口を利くべきではない。
- ☛ 女性に年齢を聞くべきではない。
- ☛ 車内では、年寄りや体の不自由な人に席を譲るべきだ。

…ようだ

“ようだ”为比况助动词, 上接活用语连体形、“体言+の”、连体词“この”“その”“あの”“どの”等。其用法除表示比喻、例示、内容的等同提示、愿望、目的、劝诱、要求之外, 还能表示根据感觉或想象对事物进行的主观的推量判断或以委婉的语气表达自己的看法。可译为“好像……”。

- ☼ あれ、この卵^{たまご}、ちょっと悪くなっているようです。
- ☼ この鎮痛剤^{ちんつうざい}を飲む^{ねむ}と眠くなるようです。
- ☼ もう時間のようですので、今日の授業はこれで終わりにしたいと思えます。
- ☼ 早く来すぎたようで、学校の玄関^{げんかん}はまだ閉まっている。
- ☼ この仕事は君には荷^にが重過ぎるようだ。
- ☼ まだ何か質問がありますか。もうないようです。
- ☼ 地震^{ちしん}のようだと思って急いでガス^とを止めた。

日本の概況—地理

日本は複雑な地形に特徴があり、盆地、様々な高さ、形の山脈がある。陸地面積の70%は山地で、そのほとんどが森林で覆われている。有名な富士山は海拔3776mで、日本の最高峰でもある。富士山は休火山であるが、このほかに日本には活火山もいくつある。日本で一番大きい湖は琵琶湖で、面積は669.23k m²である。